

Ⅱ 国語 正答表並びに採点上の注意 追検査

(令和四年度)

問三										問二						問一							
(ケ)	(ク)	(キ)	(カ)	(オ)	(エ)	(ウ)	(イ)	(ア)	(カ)	(オ)	(エ)	(ウ)	(イ)	(ア)	(ウ)	(イ)				(ア)			
2	3	4	2	1	3	2	4	1	1	2	4	2	1	3	4	d	c	b	a	d	c	b	a
4点	4点	4点	4点	4点	4点	2点	2点	2点	4点	4点	4点	4点	4点	4点	4	1	4	2	4	3	2	1	3
4点	4点	4点	4点	4点	4点	2点	2点	2点	4点	4点	4点	4点	4点	4点	4	2点	2点	2点	2点	2点	2点	2点	2点

問五										問四			
(イ)										(ア)			
<p>な つ た た な く</p> <p>重 視 し な け を</p> <p>所 有 だ の の の</p> <p>価 値 も の 、 の</p> <p>様 化 し 、 多</p> <p>じ る な ど</p> <p>に 魅 力 を 感</p> <p>快 適 な 生 活</p>										<p>シェアリングサー ビスの広まりには、 人々の幸福に対す る考え方が</p> <p>3</p>			
<p>40</p>										<p>4</p>			
<p>6 点</p>										<p>4 点</p>			

(イ)は正答例。

## 採点上の注意

### 【問題全般について】

- 中間点は、問五(イ)以外には設けないこと。
- 疑問点は複数の採点者及び点検者によつて判断し、校内で統一すること。
- 誤字・脱字（指定語句及び句読点に係る誤りを含む）の判断については、校内で統一すること。

### 【中間点のある記述問題について】

- 正答例以外であつても、与えられた条件をすべて満たし、問題の趣旨に即した文ならば、正答として六点を与える。
- 内容については、中間点を設けないこと。
- 誤字・脱字（指定語句及び句読点に係る誤りを含む）については、その数にかかわらず一点減点とする。
- 表現に問題があり、それによつて明らかに問題の趣旨から外れている、内容を読みとることができない等の場合は、誤答とする。ただし、許容できると判断した場合は、その数にかかわらず二点減点とする。表現の問題については、複数の採点者及び点検者によつて判断し、校内で統一すること。
- 中間点は、誤字・脱字（指定語句及び句読点に係る誤りを含む）がある場合と、表現に問題がある場合の減点以外は設けないこと。したがつて、中間点は四点または二点となる。
- 指定語句がある場合、その語句が含まれていらない解答は誤答とする。

### ○ 問五(イ)について

- ・ 指定語句は「所有」である。

#### 得点項目A

内容については、次の二点に触れていること。

- (あ) 「（人々の幸福に対する考え方が）多様化した（様々なになつた）」こと。
- (い) 「（人々が幸福を）高価なものを所有することだけに求めなくなつた」こと。

#### （正答例）

シェアリングサービスの広まりには、人々の幸福に対する考え方が  
別荘など高価なものを所有するだけではなく、快適な生活を重視…するなど多様化した  
ことが背景にあると考えられます。